



■ テーマ名

都市・地域と企業の共創的なブランド構築

■ キーワード

都市、地域、企業、ブランド、産業、産地、購買行動

■ 研究の概要

激変する環境変化の中で「選ばれる都市・地域」「選ばれる企業」となるためには、都市・地域とそこに立地する企業が互いに強いブランドを「共生」「共創」することがますます重要になると考え、研究を行っています。神戸市のように、イメージの良いエリアに優れた企業や観光施設、商業地等が数多く立地しているということは、それぞれのブランド価値を高める要件の一つであると思われる。しかしこれは互いの関係性のほんの一面に過ぎず、さらなる発展を目指すにはより深い戦略と取り組みが必要です。

そこでこれまでに行った、

- ・都市・地域・企業のイメージとその構成要素
- ・企業の地域貢献
- ・上記が購買行動、ロイヤルティに与える影響
- ・産業振興、まちづくり政策
- ・ブランド・ビルディング・ブロックを活用した分析

に関する調査研究をベースとして、主に神戸とそこに立地する企業を中心に、マーケティングのブランド構築、企業の社会的責任(CSR)の面から考察を行います。また都市・地域と産業との関係、新たな「産地」の創出と振興に関しても研究したいと考えます。

■ 他の研究/技術との相違点

中小企業診断士として、東京を拠点に長く地域商業・商店街の活性化と企業支援に取り組んで参りました。神戸に移って4年目となりますが、これまでの経験を活かして研究を行いたいと思います。

■ 今後の展開、実用化へのイメージ

都市・地域と企業が互いにブランド価値を高め合うという「共創・共生モデル」を作り、全国の都市・地域と企業の活性化に役立てたいと考えています。

■ 関連業績(特許・文献)

- ・「都市・地域とリテールストアにおけるブランド構築の可能性とその共生について」(2003年 早稲田大学商学研究科修士論文)
- ・「流通新論」第4章 まちづくりと流通(2003年 八千代出版 共著)
- ・「中心市街地活性化『あるがまま』を活かすまちづくり」(2006年 季刊「まちづくり」学芸出版社)
- ・「まちのブランド」(2008年 早稲田学報)
- ・「平成30年度 浜天津商店街振興組合 商店街活性化推進調査・研究事業報告書」(2019年 滋賀県商店街振興組合連合会)
- ・「神戸市における企業・組織のブランド研究」(2020年度 演習Ⅲ)

■ 研究者から一言

学報.net (<https://www.kobegakuin.ac.jp/gakuho-net/infocus/2020/01.html>)にて、研究テーマに関するインタビューと、神戸学院大学×大丸神戸店の協働プログラム「もともち こども大学」での取り組みが紹介されておりますので、ご覧いただけますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。